

地域計画

策定年月日	令和6年3月11日
更新年月日	()
目標年度	令和12年度
市町村名 (市町村コード)	三次市 342092
地域名 (地域内農業集落名)	小文地区 (小文上組・小文下組)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	18.54 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	18.54 ha
② 田の面積	17.3 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.8 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における65才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
 5:(参考)の区域内における65才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

小文地域では、自作農家により水稻中心の農業経営が行われていたが、基盤整備により、農業を担う者への集約・集積の話し合いが進んでいる。
 今後も引き続き、農業を担う者への集約・集積を進めていく必要がある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

小文地域の農地は、農業を担う者へ集積することとする。農業を担う者は、地域の農業者から農地の引き受けについて依頼があったときは、可能な範囲でこれに応じる。
 地域住民は、日本型直接支払制度を活用し、水路や農道などの共有部分の維持管理を通じて中心経営体を支援する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理機構を活用した担い手((合)安田農産)への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で、農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	51.7	%	将来の目標とする集積率
			91 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手が利用する農地面積の団地数は、約10箇所(令和5年度時点)。 農地については、(合)安田農産へ集積することで集約化を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
小文地区の農地は、農業を担う者である(合)安田農産へ集積することとする。また、農業担う者が農地の受けてとして円滑に規模拡大を進められるよう、畦畔管理・水管理等の環境維持について、地域も協力して取り組む。
(2)農地中間管理機構の活用方法
新たに借り受ける農地については、農地中間管理機構を通じて転貸を進める。
(3)基盤整備事業への取組
基盤整備を行い、農業を担う者へ農地を集積するほか、用水路の管理を引き続き行う。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
市及びJAと連携し、地域内外の担い手の確保に取り組み、新規就農者を確保する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地区内の農作業委託については、可能な限り農業を担う者が引き受ける。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

- ①地域全体で、鳥獣被害対策に取り組み、鳥獣被害防止の充実を図る。
- ⑤新規就農者を中心に、果樹の栽培を行う。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	1	水稻, もち麦	6 ha	ha	水稻, もち麦	12.5 ha	ha	1	
認就	2	ぶどう	0 ha	ha	ぶどう	0.9 ha	ha	2	
利用者	3	水稻	1.5 ha	ha	水稻	1.5 ha	ha	3	
利用者	4	水稻	0.6 ha	ha	水稻	0.6 ha	ha	4	
利用者	5	水稻	0.4 ha	ha	水稻	0.4 ha	ha	5	
利用者	6	野菜等	0.03 ha	ha	野菜等	0.03 ha	ha	6	
利用者	7	水稻	0.1 ha	ha	水稻	0.1 ha	ha	7	
利用者	8	水稻	0.4 ha	ha	水稻	0.4 ha	ha	8	
利用者	9	野菜・果樹	0.05 ha	ha	野菜・果樹	0.05 ha	ha	9	
利用者	10	水稻	0.1 ha	ha	水稻	0.1 ha	ha	10	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	10経営体		9.18 ha	0 ha		16.58 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業者名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)